

鬼は外！福は内！ 悪い鬼をやっつけろ！



節分は読んで字のごとく『季節を分ける』の意味があり、この季節は四季の立春・立夏・立秋・立冬のうちの立春に当たる時期です。

また、「福はうち！鬼はそと！」の豆まきは遠く室町時代からの習慣

と言われ大豆(炒り豆)をまき、歳の数だけこの豆を食へ邪気を払うと同時に無病息災を祈ってきだと言われています。

割り箸に柀(ひいらぎ)と鰯の頭をはさんで玄関先の柱に魔除けとしてどここの家でも飾っていたことも今は懐かしい行事のひとなつてしまいたまね。



施設の行事は、風船の順送球でユニットごとの対抗戦です。「よい、ドン！」の号令で風船を送り、段ボールの箱に風船を付けてからグッズをいっぱい着けて鬼をつくりました。今度は出来上がった金棒でパンパン！と叩いて割って鬼退治です。

一見、ホテルを思わせるような外観の施設。建設への取り組みを始めた平成十六年に介護保険法が変わり『全室個室』で十室ずつをお互いが干渉しない場所に配置しなさいという『ユニット化』が義務付けされた。そのユニットにはそれぞれリビングが設置され、個室の広さは十五㎡九五畳を誇るものとなった。



近代的な洋風の建物に・・・



入居が決まると、家族の皆さんにこの主旨をしっかりと説明。自宅に訪問させていただき、本人が大切にしていた物、使っていた物、思い出になる物などの持ち込み(施設へ移動)の相談をさせていただくようになった。

特別企画 施設で取り組む しつらえ(設え)

家族の皆さんも巻き込んで・・・

その人らしい生活を提供するには・・・

でも、『そつだよねホテル暮らしみたいではないよね・・・』そうだ、住み慣れた我が家を再現させようよ！『スタッフ改善プロジェクト』を立ち上げた。

可能なら
間取りまで一緒に・・・

「ここにテーブルがあって・・・ここにタンスがあって・・・テレビはここで・・・畳だったよね・・・」事情によっては仏壇まで・・・家族の皆さんの理解と協力も得て『落ち着ける安らぎの空間』が再現されていく。

すっきり感はなくなくなるけれど・・・

かくして、通路もリビングも居室も昔懐かしいものでいっぱい。近代的な建物でスタッフには働きやすく、入居された皆さんには精神的な負担の軽減がされた施設が出来上がっていく。

これからもまだまだ続くこの取り組みに理解を示してくれた家族の皆さんと理事長や施設長の姿勢にも感謝をしています。



行事・お知らせ

● ひな祭り ●
三月一日(金)

★各階にて行いました。
★お雛様は各階に飾ってありますので施設にお越しの際は入居の皆様と一緒に写真などをお撮りください。

● 河津桜 ●

★施設に一本しかない桜ですがぐんぐん成長して今年もいっぱい花を着けてくれています。

★三月の中旬くらいまでは見ごろだと思えますので是非どうぞ！



◆ 今月のスタッフ紹介 ◆



テイサービス
A型
小長谷知栄さん

○ 介護歴は？

○ こもれびからの五年目です

○ 一番好きな時間は？

○ 友達と食事しながらのタバリング

○ 性格を一言で言うと？

○ ゆったマイペースが施設で変身？

○ 何度やっても駄目なもの？

○ タイエットで挑む腹筋

○ あなたの初恋は？

○ 保育園・しがき隊のモックン

○ マイブームは？

○ 韓国&台湾のコスメコミュニティ！

○ 未来の夢は？

○ 来月の登場者を紹介して

○ 元気な望月義文さんです